

6領域ごとの2025年の病院（公立・公的）の役割分担の方向性等を踏まえた医療提供体制について

No.	医療機関名	設置主体	領域	医療機能の方向性				当領域における病院の医療提供状況及び今後の見込み	
				他院との連携・機能分担	機能統合	機能縮小（廃止）	その他	現状 (病院回答から転記(抜粋))	今後の見込み、予定 (病院回答から転記(抜粋))
1	岐阜県立下呂温泉病院	公立	がん	○				<ul style="list-style-type: none"> ・診療実績あり(内科・外科) ※H29年度実績: 消化器(消化管/肝胆膵)167件・乳腺23件・泌尿器/生殖器 8件 ・高度医療が必要な症例は3次医療機関へ紹介 	・今後も同様
			心筋梗塞等の心血管疾患	○				<ul style="list-style-type: none"> ・軽症及び高度医療の要望がない時は自院で対応している。 ・高度医療が必要な症例は3次医療機関へ紹介 ・他医療機関から手術応援及び外来支援あり。 	・今後も同様
			脳卒中	○				<ul style="list-style-type: none"> ・脳動脈瘤クリッピング術、開頭血腫除去術、血栓除去術等の診療実績あり。 ・高度医療が必要な症例は3次医療機関へ紹介 	・2021年度より、脳神経外科常勤医師減となるため、紹介事例は増加の見込み
			救急医療	○				<ul style="list-style-type: none"> ・当診療圏で二次救急の役割を担っている。 ・高度医療が必要な症例は3次医療機関へ紹介 	・今後も同様
			小児医療	○				<ul style="list-style-type: none"> ・小児科医1名の常勤体制は取れている。産科体制の維持を踏まえ、夜間、休日等における小児救急体制(待機)については、大学病院からの支援も含め体制整備している。 ・高度医療が必要な症例は3次医療機関へ紹介 	・今後も同様
			周産期医療	○				<ul style="list-style-type: none"> ・当診療圏で唯一の出産施設であり、年間60件の分娩実績あり。 ・産科医1名は高齢であるが、地元開業医(産科医)と協力しながら体制維持している。 ・週末は、外部産科医の応援体制あり。 ・ハイリスク分娩の対応はできず、近隣医療機関へ紹介。 	・産科医の確保が困難となれば縮小せざるを得ない。

6領域ごとの2025年の病院（公立・公的）の役割分担の方向性等を踏まえた医療提供体制について

No.	医療機関名	設置主体	領域	医療機能の方向性				当領域における病院の医療提供状況及び今後の見込み		
				他院との連携・機能分担	機能統合	機能縮小（廃止）	その他	現状 (病院回答から転記(抜粋))	今後の見込み、予定 (病院回答から転記(抜粋))	
2	下呂市立金山病院	公立	がん	○			人材交流	<ul style="list-style-type: none"> ・肺癌等の手術は行わず、70km離れた岐阜県総合医療センターなどに紹介。 ・化学療法、緩和ケア等については、他院と連携。 ・乳腺は診断、手術、化学療法、内分泌療法、緩和ケアに至るまで診療しているが、残存乳腺に対する放射線照射は50km離れた木沢記念病院に依頼。 ・消化管、肝胆膵などの癌に対しては、すべての手術化学療法緩和ケアに対応。 ・泌尿器、生殖器手術は行わず、内分泌療法、緩和ケアなどを担当。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消化器については、昨年、下呂温泉病院の術者が急逝されてしまい、今年度当院から術者が赴任。 ・同院には麻酔科専門医も赴任されており、今後は肝胆膵領域の高難度手術については同院に集約し、研修医を助手として派遣して経験をつませる方向を考えている。・その他は、現状変更なし。 	
			心筋梗塞等の心血管疾患						現状変更なし	
			脳卒中	○					<ul style="list-style-type: none"> ・必要採血をして搬送時間中に結果を得てFAXにて搬送先施設に情報を提供するなどしている。 ・脳動脈瘤クリッピング術等は行っていないが、施行可能な下呂温泉病院まで約30km離れており、搬送時間中に血圧を安定化させ、再破裂を防止するなどの治療を行っている。 ・開頭血腫除去術等は行っていないが、急性硬膜外出血で搬送中に脳ヘルニア兆候が急速にすすむ場合、減圧尖頭のみ施行する事は可能。 	現状変更なし
			救急医療					人材交流	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲30km圏内に病院がないため、基本的にはすべての疾患をうけとっている。 ・当院で治療が完結できない場合は上記の例のごとく遠隔搬送中の病態の安定化を図る。 ・大腿骨骨折等の場合、当院に整形外科専門医はいないが、専門医がいる30km離れた下呂温泉病院への移動が困難であるため、同院より専門医を招聘し、当院にて手術を実施。 	現状変更なし
			小児医療						・新生児については入院対応していない	現状変更なし
			周産期医療						行っていない	現状変更なし

6領域ごとの2025年の病院（公立・公的）の役割分担の方向性等を踏まえた医療提供体制について

No.	医療機関名	設置主体	領域	医療機能の方向性							
				他院との連携・機能分担	機能統合	機能縮小（廃止）	その他	当領域における病院の医療提供状況及び今後の見込み			
								現状 （病院回答から転記（抜粋））	今後の見込み、予定 （病院回答から転記（抜粋））		
3	国保飛騨市民病院	公立	がん	○				・消化器がん、乳がんは可能な限り対応。呼吸器内科医師、泌尿器科医師は富山大学附属病院の非常勤医師にて対応	・今後も同様の対応予定。		
			心筋梗塞等の心血管疾患	○				・高山赤十字病院の常勤医師が不足しており、緊急対応できないことを踏まえ、当院からは富山方面に緊急カテーテル検査を依頼。	・今後も同様の対応予定。 ※高山赤十字病院の常勤医師の確保状況によって変わる可能性あり		
			脳卒中	○				・脳外科医師は非常勤医師を確保。 ・高山赤十字病院や富山大学附属病院と連携して、当該患者を転院搬送。	・今後も同様の対応予定。		
			救急医療					・常勤医師が少ない時期であっても救急患者を受け入れ。	・今後も二次救急としての役割を果たしていく。		
			小児医療	○				・医師1名であるため、入院患者の受け入れはできないが、飛騨圏域の小児医療の向上のため、週1回高山赤十字病院へ派遣し食物負荷試験等の診療を応援。	・今後も同様の対応予定。		
			周産期医療	○				・産科を設置していないが、妊婦健診は富山大学附属病院の非常勤医師にて対応。	・今後も同様の対応予定。		
4	高山赤十字病院	公的	がん	○				地域がん診療連携拠点病院として、飛騨圏域におけるがん診療の中核的な役割を担っている。	今後も同様。		
			心筋梗塞等の心血管疾患	○				平成30年度及び令和元年度は常勤医師が不在であり、他病院との連携を図りながら機能維持に努めていた。現在は、今年度より常勤医師1名が着任し、機能の回復に努めている。	常勤医師を複数名確保し、定着化を図るとともに、三次救急医療体制を堅持する。		
			脳卒中	○				年間20件以上のrt-PA療法を実施しており、救命救急センター及び1次脳卒中センターの機能を有している。	今後も同様。		
			救急医療	○				年間約2,000台以上の救急車を受入している。また、救命救急センターを有し、飛騨圏域の三次救急を実施している。	今後も同様。		
			小児医療	○				飛騨圏域において唯一、小児科入院が可能な医療機関であり、小児救急及び新生児医療を実施している。	今後も同様。		
			周産期医療	○				年間約350件程の分娩実績あり。地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク分娩にも対応している。	今後も同様。		

6領域ごとの2025年の病院（公立・公的）の役割分担の方向性等を踏まえた医療提供体制について

No.	医療機関名	設置主体	領域	医療機能の方向性					
				他院との連携・機能分担	機能統合	機能縮小（廃止）	その他	当領域における病院の医療提供状況及び今後の見込み	
								現状 (病院回答から転記(抜粋))	今後の見込み、予定 (病院回答から転記(抜粋))
5	久美愛厚生病院	公的	がん	○				<ul style="list-style-type: none"> 診療実績あり(肺・呼吸器・乳腺・消化器・泌尿器) 紹介が必要な症例は長良医療センター・愛知県がんセンター等へ紹介。 放射線療法は実施していないため高山赤十字病院へ紹介。 	今後も同様の対応予定。
			心筋梗塞等の心血管疾患	○				<ul style="list-style-type: none"> 循環器内科専門医が在籍し、開業医からの紹介を含め診療を実施している。 外科的手術は岐阜ハートセンター・大垣市民病院等へ紹介。 	今後も同様の対応予定。
			脳卒中	○				<ul style="list-style-type: none"> 常勤の脳神経外科専門医が在籍し、開業医からの紹介を含め専門的な治療、手術等を行っている。 超急性期の治療を要する時は、高山赤十字病院等へ紹介。 	今後も同様の対応予定。
			救急医療	○				<ul style="list-style-type: none"> 高山市での二次救急の役割を担っており、高山市消防、飛騨市消防、下呂市消防からの受入要請に積極的に対応している。 当院で対応できない患者の受入れは高山赤十字病院へ紹介。 	今後も同様の対応予定。
			小児医療	○				<ul style="list-style-type: none"> 小児科の常勤医師は不在のため、高山赤十字病院と連携している。 当院で対応できない患者の受入れは高山赤十字病院へ紹介。 	今後も同様の対応予定。
			周産期医療	○				<ul style="list-style-type: none"> 年間90件程度の分娩実績あり。 ハイリスク分娩への対応は高山赤十字病院へ依頼。 	今後も同様の対応予定。